

第18回 足立 真訓

- 講演者: 足立 真訓 氏 (静岡大学)
- 題目: レビ平坦多様体の小平型埋め込みについて
- 日時: 2019年 1月 25日 (金) 16:30 ~ 17:30
- 場所: 数学科セミナー室 (4号館3階)



[seminar, 2018](#)

abstract

レビ平坦多様体とは、複素多様体による実余次元1葉層構造を備える多様体のことである。レビ平坦多様体上の関数論は、葉方向に着目すれば、複素多様体上と似た振る舞いが期待できる。一方、葉の横断方向に着目すれば、葉層構造の力学系的性質が強く反映するとも期待される。この両義性を示す現象に、レビ平坦多様体の小平型埋め込み写像の可微分性の問題がある。いわゆる小平の埋め込み定理は、レビ平坦多様体に対して一般化される（大沢-Sibony [2000] が、その埋め込み写像は一般には、横断方向に無限階可微分にはならない（足立, 2014））。この講演では、レビ平坦多様体の具体例として、種数2以上の閉リーマン面上の単位接束を取り上げ、その葉向多重標準束による小平型埋め込み写像の可微分性を論じる。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

24 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2018/018>

Last update: **2021/02/11 11:09**

